

海外事情研究所主催・高大連携事業

夏季世界史セミナー ―世界史の最前線 XV―

日時:2023年8月3日(木)~4日(金)

開催方法:対面式と遠隔式(Zoom 利用の同時配信)の併用

(※なお、セミナー実施後に講義動画を限定的に配信する予定です。)

1 日 目	8月3日 (木)	9:30~10:00	会場受付/Zoom入室
		10:00~10:10	開会挨拶・趣旨説明
		10:10~11:30	【講義 1】「東南アジア史の「古代」をどう考えるか:時代の区分け、空間のつながり、社会のつくり」 (青山 亨)
		11:30~13:00	昼休み
		13:00~14:20	【講義 2】「1348年の世界―超広域帝国の分解プロセスと災害複合」 (千葉 敏之)
		14:20~14:30	休憩
		14:30~15:50	【講義 3】「南アジアのイスラーム社会」 (登利谷 正人)
		15:50~16:00	休憩
		16:00~17:20	【講義 4】「イタリア植民地主義と「補償の政治」」 (小田原 琳)
		17:20~17:30	1日目終了の挨拶、事務連絡など
2 日 目	シンポジウム「〈歴史総合〉時代の高大連携―大学・高校における歴史教育はどう変わっていくのか?」		
	8月4日 (金)	9:00~9:20	会場受付/Zoom入室
		9:20~9:30	開会挨拶
		9:30~10:20	「小川幸司著『世界史とは何か―「歴史実践」のために』書評」 (小野寺 拓也、本学教員)
		10:20~11:10	「小野寺拓也・田野大輔著『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか』書評」 (小川 幸司、長野県伊那弥生ヶ丘高等学校)
		11:10~11:30	休憩
		11:30~12:10	相互リプライ(小野寺 拓也、小川 幸司) / 質疑応答
		12:10~13:30	昼休み
		13:30~14:20	「本学試行問題について」 (篠原 琢、本学教員)
		14:20~14:30	休憩
		14:55~16:10	座談会「大学・高校における歴史教育はどう変わっていくのか?」 ・登壇者:小川 幸司、小野寺 拓也、春名 展生、菊池 陽子、 木村 航(慶應義塾高等学校) ・司会:篠原 琢
		16:10~16:15	閉会挨拶

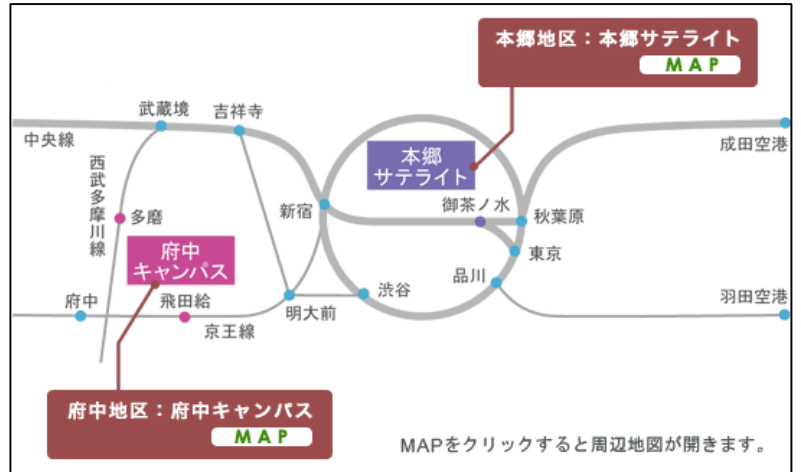
「世界史セミナーXV」参加条件・申込み方法等

■日程:2023年8月3日(木)、4日(金)
午前・午後(全2日間)

■会場:東京外国語大学 府中キャンパス
研究講義棟 101 教室(対面式)
(東京都府中市朝日町 3-11-1)

◇アクセス◇

西武多摩川線「多磨」駅より徒歩5分、
又は京王線「飛田給」駅よりバス
(右・右下の地図をご参照ください)



■対象:主に高等学校および予備校の世界史・日本史の担当教員
(※ならびに教員免許を志望する本学の大学院生(授業の一環です))
(※その他、大学教員、学生などの皆さんの参加も広く歓迎いたします)

■応募方法:下記リンクよりGoogleフォームにご記入ください

<https://forms.gle/jvsXpnCPeiCyB7Cq7>

(※右のQRコードからも申込みフォームを開けます ⇒ ⇒)

(※7月下旬まで申込可能ですが、お早めの申込をお願いいたします)

(※なお、対面式の参加で宿泊が必要な方は、事前に宿泊先を確保された上でお申し込みください)



■お問い合わせ先

海外事情研究所・所長:吉田 ゆり子

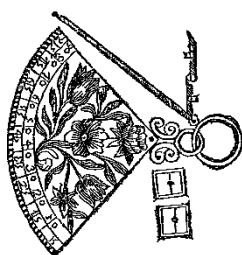
メールでのお問い合わせ先: ifa[at]tufs.ac.jp

(※送信時は[at]を@に変えてください)

■企画・運営:

東京外国語大学・海外事情研究所

(<http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ifa/>)



IGAS

